



- 滝川市から深川市に跨がって運行している地域間幹線バスの「滝深線」（空知中央バス株）は、主に滝川市北部および深川市音江地区の住民に、それぞれ滝川中心部、深川中心部への通勤／通学／通院に利用されており、地域の生活交通において重要な役割を担っている。
- 一方、当該路線は人口減少や2024問題の影響等から、乗務員不足が深刻化し、運行事業者より令和8年9月末以降のサービス維持が困難である旨の申し出があった。
- 当該路線は地域住民の足として重要な役割を担っており、今後も交通ネットワークとして維持・確保を図る必要があることから、中空知地域公共交通活性化協議会での検討を経て、滝深線のうち滝川市部分について「地域旅客運送サービス継続実施計画」を策定し、利用促進や利用者ニーズへの対応にかかる取組を地域で連携して進めることとした。

## 事業の内容

- ・乗合路線不定期運行による継続
- ・運賃：現行系統の運賃と同一
- ・地域内フィーダー系統（本計画認定により、新規フィーダー系統認定予定）
- ・車両：普通乗用自動車（乗車定員10人以下）
- ・運行回数：（現行）平日8往復→平日7往復へ変更
- ・計画作成自治体：滝川市
- ・計画期間：令和8年10月1日～令和10年3月31日
- ・公募期間：令和8年5月11日～5月25日
- ▶継続事業者は北星三星交通(株)に決定
- ・路線名称を「江部乙東陽線」とし、地域や運行事業者と連携した利用促進の取組や、地域住民の公共交通への意識醸成を図る取組を実施

## 現行



## 認定後



## 運行回数

|        | 平日 |   | 土日祝 |   |
|--------|----|---|-----|---|
|        | 往  | 復 | 往   | 復 |
| 滝深線（旧） | 8  | 8 | 4   | 3 |
| 江部乙東陽線 | 7  | 7 | 0   | 0 |



乗降調査等を踏まえて、平日のみの運行が有効と判断。